



おおきなせなかに
夢を乗せ未来に羽ばたく元気なまち

広報

だいでせん

第4号

6・1

平成17年6月1日

特集 地域自治区 住民参加によるまちづくり
市政ナビ
大仙人
総合支所便り(中仙総合支所)
広報見聞録

<http://www.city.daisen.akita.jp>



明日に向かって ジャンプ!

5月17日、18日開催、大曲仙北中学校陸上競技大会(会場=西仙北東中学校)

3月22日に合併し誕生した「大仙市」。新市誕生から2カ月が経過した。「平成の大合併」では、6年前の合併特例法施行直前に3,200余りあった市町村が、特例法の最終期限である来年4月には1,800余りになることが確実となった。

私たちの地域は、旧市町村時代から消防、ごみ処理、介護保険など、広域行政に取り組み、市町村合併の下地ができあがっている地域と言われた。

しかし、残念ながら合併したからといって新市の明るい将来が約束されたものではない。地方分権の受け皿としての市町村合併は、住民のものでなくてはならないが、行政区域の広域化などにより「民意が届かなくなる」「周辺部が寂れるのではないか」といった不安の声が聞かれる。

大仙市では、合併できめ細かな自治が損なわれないように、合併協議の中で「地域自治区」を設置することを決定している。

地域住民の意見を行政に反映させ、住民と行政が一緒になりながら行動し工夫を凝らすことが、今後のまちづくりの成否を左右するカギになってくる。

合併以前から各地区で取り組む「住民自治」をヒントに、新市における住民参加によるまちづくり「地域自治区」を考えてみたい。



田植えが済んだ大仙市。(大台スキー場から)
秋の収穫を迎えるころには、協働のまちづくりが進められている。

特 集

住民参加によるまちづくり

「地域自治区」



行政と住民のパイプ役を務めたいと話す、竹原会長（写真右）と武藤さん。
住民と行政が同じ土俵で話し合うことの大切さを話してくれた。

神岡地区には現在25の自治会がある。昭和31年に住みよい地区をつくるうと、それぞれが発足した。

前年の昭和30年には神宮寺と北檜岡が合併し神岡町が誕生。地域の連帯感が心配された時だった。

昭和41年には、各自治会の連絡調整役として自治会連合会が誕生した。

「発足当時は『明るく、豊かな、住みよいまちづくり』を目指し、相互の連携や協力を図るよう、諸先輩方は努力

行政と住民の橋渡しを務めたい

神岡地区自治会連合会

長竹原勇一郎さん(神岡地区・八石・69歳)

事務局 武藤 豊さん(神岡地区・宮田・62歳)

したと思います」と先人に感謝を述べる竹原会長。今年で会長として2年目を迎える。

現在では、自治会相互の親睦や連携強化はもちろん、一斉町内清掃、まちの花ベコニアを各家庭に配布しての花いっぱい運動など、地域の環境美化に取り組むほか、連合会主催の自治大学の開催など、各自治会の枠を超えた、まちづくりの一翼も担っている。

自治大学では、企業視察や地域づくりの先進地視察、議会傍聴、町長の講話など、幅広いメニューを用意しています」と事務局の武藤さん。

「広い見識と豊かな心を持つことがま

ちづくりには必要で、19年前から自治会相互の交流を深めながら知識を高める活動をしています」とまちづくりを進めるためには、そこに住む者の資質向上が必要だと竹原会長は話す。

合併による行政の広域化。「市役所が遠くなるのでは、住民の声が届きにくくなるのでは」という不安は、正直ぬぐい切れないと言う。

連合会では合併前の1月に神岡の6地区で座談会を開催し、各地区の問題

点や要望、質問事項等話し合った。そして2月には、行政と自治会が同じ土俵について対話集会を開き、それらを行政側に投げかけ回答を引き出した。行政からの回答は、報告会として各自治会に伝えた。

「要望がかなう、かなわないではないのです。なぜ要望がかなわないのか、その理由を説明してもらおうことで納得できる部分も生まれます」と行政と住民との意志の疎通や共通認識、行政の説明責任の大切さを強調する。

竹原会長は、異口同音に行政に要望してもだめ。住民一人一人の声を集約する役目が必要で、連合会の果たす役

割は大きいと思います。合併してより住みやすいまちになってもらうためにも、このような組織を全市に広げ、連携しながら大仙市の均衡ある発展を望んでいます」と話してくれた。

また、「自分たちのまちは自分たちの手で」という問いかけに武藤さんは、「地域の美化活動など、住民全員が気軽に、そして手軽に取り組めることから始めてはどうでしょうか」と答え



各自治会の枠を超えて、全町で事業に取り組む。

住民参加によるまちづくり 「地域自治区」



住民みんなで取り組む「花と緑のまちづくり」。

5月、太田地区のフラワーロードでは黄色のスイセンが、道行く人たちを出迎えてくれる。

同地区は、奥羽山脈のすそ野に広がる自然豊かな田園のまち。黄金色の稲穂の風景とスイセン、ヒマワリ、ニッコウキスゲなどの花々が黄色に輝く宝石のトパーズと表現。田園を吹き渡る風に、田園と花々が響き合うイメージで、キャッチフレーズに「トパーズサウンド・おおた」と名付けた。

住民とともに豊かさや希望の持てるまちづくり施策の一つとして、花と緑のまちづくりが進められているが、その先導役を果たすのが、「おおた花の会」（小松國男会長・会員145人）。花や自然を慈しみ、家庭と地域の融合を図り、心のかよふ地域づくり。地域を訪れる人々をいっぱいの花でもて

「大好きな花」すてきな環境を次代に伝えたい

おおた花の会 監事 藤原サチさん(太田地区・太田三嶽・65歳)

なすボランティア活動をとおし会員相互の交流を図る目的で、平成9年に設立。会員一人当たり1千円の年会費で運営をまかない、行政と連携しながら自主、自立的な活動を進めてきた。

住民あげての花いっぱいコンクールやスイセンロードの拡大推進、ミニ花だんフェア、実技研修会、先進地視察などいろんな活動を展開している。

「嫁ぐ前から花が好きでした」と話すのは、同会の監事を務める藤原さん。入会して5年目になるが、「子育てが一段落したので、以前から興味をもっていた花の会に入会しました」。

入会1年目にして県花だんコンクールで優秀賞を受賞。「花づくりを始めただけの未熟な私に対する『がんばれ』といこ褒美だったんだと思えます」と謙遜、これが花づくりの意欲につながった。

今では自宅周辺の道路約150メートルにベコニア、サルビア、ケイトウ、コリウス、マリーゴールドなど、プランター250個、大小の鉢植え130個、そしてミニ花だんで道行く人々を楽しませている。「毎朝の水やりに2時間ぐらいかかりますが、たいへんだと思っただけではありません。小鳥のさえずる声に目覚め、『おはよう』と一つ一つの花たちに声をかけながら、朝日を浴びて虹色に輝く水を与える時、一番幸せを感じます。色鮮やかな花を見つめると気分が一新します」と花の

楽しさ、魅力を語ってくれた。

会についても、みなさんいい人ばかりで、未熟な私にいろいろご指導くださり、たくさんのお話を学ぶことができます。花を愛する気持ちを持っている人たちは心がやさしいのかもしれない。また、花づくり以外のことも情報交換ができ、地域の連携や融和を図ることが可能です」と自分の地域に対する世界がさらに広がった。

孫の手を取り花だんのそばを歩くと、おばあちゃん、花がとつてもきれいだね」という言葉が何よりもうれしいという藤原さん。「自然豊かなこの地域の特色を生かしながら、行政に頼るだけでなく、自分たちの手で作り上げ、次世代を担う子どもたちに伝えていきたい」と抱負を語る。



自然豊かで、花いっぱいの地区の特徴を子どもたちに伝え残したい。「子どもたちが花を見て美しいと感じる姿をすばらしいと思いませんか」。



手をこまねいていっているのではなく、積極的に行動

あまりめ
余目地域活性化対策いきいき会議協議会

会長 加藤加一さん(大曲地区・内小友太田・68歳)

心ひとつに地域が燃えた

余目地域は大曲地区の西端に位置し、秋田自動車道大曲インターチェンジなど、高速交通における市の玄関口に隣接している。一方、里山が集落を囲み、ため池、水田、ホタルが飛び交う小川など、豊かな自然環境が保たれているところでもある。

同地域の活性化の構想は、「美しい四季、癒しの郷」としてまとめられ、「元気の出る余目」としての活性化を目指している。

「ここでも少子高齢化は深刻な問題だ。世帯数は昔から120ぐらいと比較的安定しているが、平成10年の小学生数が60人に対し、現在では7人と激減している。」

「このままでは地域の灯が消えてしまうという危機感から、2年前に花いっぱい運動を開始しました。地域の気持ち

ちをひとつにする必要があったんです」と加藤会長。

地域の危機感は住民誰もが感じていたと言う。ただ、この思いを行動に結びつける手段が分からなかっただけで、昨年4月の事業説明会には、7割を超す世帯が出席し、真剣に地域について話し合った。加藤会長は「まさに『地域が燃えた』一日」とかつてない住民の目の輝きに感動を覚えた。

以前、地元小学校の児童が、不法投棄防止のために環境美化看板を設置したことに刺激を受けたと言う。

「連綿と続いてきた、自然豊かな里山のすばらしさやありがたさを子々孫々まで伝えていくことが、私たちの使命。小さな地域であっても、ただ手をこまねいているのではなく、積極的に行動を起こし、地域の声を行政に届けることが大切」と新しいタイプの農村に挑戦したいとしている。

「これからのまちづくりのヒント」

地域を最もよく知る地域住民が

合併にさきがけ旧大曲市で実施 地域いきいきビジョン策定事業

昨年、旧大曲市では地域の活性化計画を地域の住民につくっていただく「地域いきいきビジョン策定支援事業」を実施。

この事業は地域の活性化をその地域を最もよく知る住民のみなさんに考えてもらい、地域の特色や魅力を生かした活性化のアイデアをまとめ、住民と行政が一緒になってまちづくりを進めることを目的とした。また、地

域の「良さ」を掘り起こし、活動を通して住民同士の連携を強めるねらいも併せ持っている。

1年間の活動の中、地域の特色や魅力を生かした7つの活性化のためのアイデアが提出されている。(下写真)

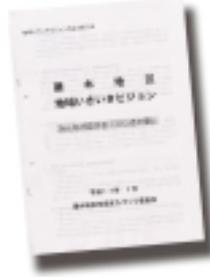
どれもこれも地域への愛情が込められた構想。今後のまちづくりへのヒントになるのではないだろうか。



余目地域活性化対策いきいき会議協議会



萬桜育友会



藤木地区「まちづくり委員会」

7つの活動グループからの

地域活性化の提案書

地域活性化アイデアをまとめる

市街地の庭先

大曲の東に位置する曲陽地区。「大曲の東、大曲の陽の出ずるところ」として大正初期から曲陽と総称されてきた。

純農村地帯だったが、平成5年の国道13号バイパスの開通と同時に郊外型大規模店が次々に進出、宅地造成も振興。さらに当地を起点として平成19年には秋田自動車道に接続する本荘・大曲間の高規格道路の開通が予定され、また、近隣にない大型ショッピング街と遊街娯楽施設の進出も計画されているなど、大きな環境の変化が予想される地区となっている。

一方、国指定の重要文化財である古四王神社や、この地を納めた富樫左衛門勝家が建立したと言われる孔雀城の跡地などがあり、歴史、文化的価値を有する地区でもある。

地区のよさを知っているのは

現在の曲陽会は平成元年に組織された。事務局を務める高橋さんは、「田んぼと畑の地域があつたという間に市内一のショッピング街になった」とまちの变貌ぶりに驚く。

当初は各部落の親睦や地域の一体感を盛り上げようと組織された。地区を流れる福部内川のクリーンアップは恒例行事として年2回実施してきたが、事業のマンネリ化により会の存在感を失いかけていた。そんな矢先、市からこの事業の説明があった。

「いい機会だと思いました。住民一人一人が持つ力は大きいと思います。別々を向いていては意味をなしません。同じ方向を向いてこそ、より大きな力になるものです」と地域連携の大切さを話す。

「和と元気のある曲陽をめざして」と

いう構想を作成した曲陽会。地区のシンボルである古四王神社のピーアールや遊休・減反地を利用した家庭菜園など、市街地に一番近い農村部としての特徴が組み込まれている。

「地域のことは、その住人が一番知っている」と話す高橋さん。我田引水ではいけないが、まちづくりはそこの地域の特徴や考えを取り入れた方がスムーズに事業が進み、行政効率があがるのではないかと話す。

「今年古四王神社に関する勉強会を計画しています。まちづくりは地域を知ることからはじめると必要があると思います。地域を知ること、自分のまちに誇りと自信を持つのではないのでしょうか。まちづくりの原点は地域を知り、誇りと自信を持つことです」と地域の特色を生かしたまちづくりを行政と一緒に進めたいとしている。

まちづくりは、**地域の特徴を生かすことが大切**

曲陽会

事務局 高橋祥一さん(大曲地区・和合落合・69歳)



丸子川と親しむ会



曲陽会



花館地区いきいきビジョン策定事業会議



大川西根地域いきいきビジョン策定委員会



各地区の特色を生かし、住民と行政がパートナーとなってまちづくりを進められることが重要です。

地域住民の意見を反映・地域自治区を設置します

旧市町村での「住民自治」の取り組みについて紹介しましたが、これからのまちづくりは、住民と行政の対話を基礎とした協働による作業がより一層大切になってきます。

行政情報の積極的な開示による住民との情報の共有、「自らの地域は自らの手で」とした住民自治活動の支援、住民自治活動の場である「地域自治区」の設置など、住民と行政が一緒になって汗を流す協働のまちづくりを目指し、合併による不安を取り除き、住みよい地域づくりを進めていきます。

地域協議会とは

合併協議で決定されたとおり、大仙市では、地域住民の意見を行政に反映させるとともに、住民と行政の連携を強化する目的で、旧市町村の区域ごとに地域自治区が設置されます。

地域自治区は、「地域協議会」と「事務所」で構成されます。(次ページのイメージ図参考)

「地域協議会」の委員は、その区域内に住所を有する人から市長が選任します。委員は20人以内で任期は4年以内。区域に関することで市長から諮問された事柄、または自ら必要と認めるものについて審議し、意見を述べる権限が与えられます。各地域自治区ごとに設置された総合支所が「事務所」となり、地域協議会の事務を処理します。

住民が自ら暮らす地域のまちづくりに主体的に取り組む中で、住民と行政の役割分担・協働の関係を明確にして、日々の住民活動を通じて得られた地域の課題や要望といった住民の声、行政施策へ反映されるシステムの構築を図ります。

なお、各地域自治区ならびに各地域協議会の詳細については、今後発行の広報でお知らせします。

【問い合わせ】

企画部地域づくり課

まちづくり班

0187(63)11111

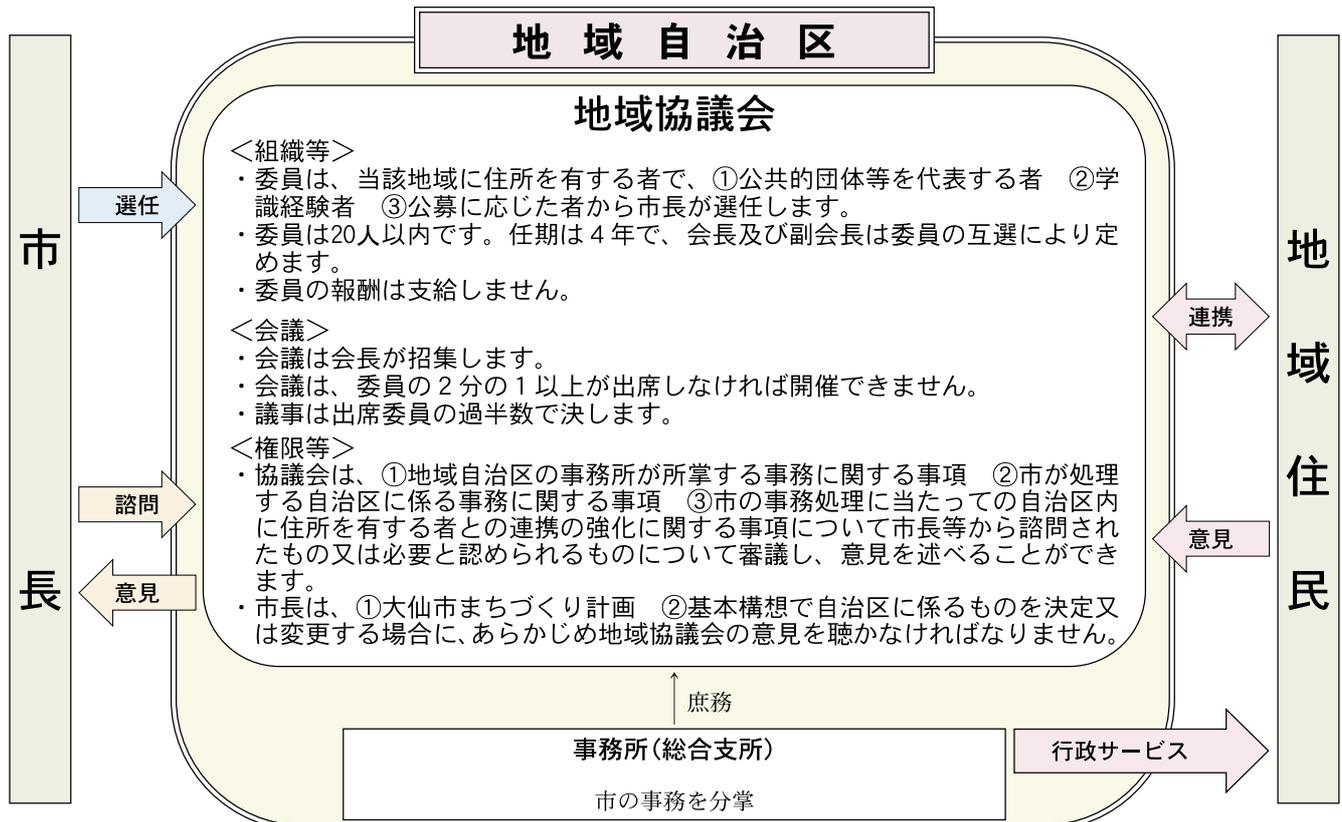
(内線218)

各総合支所地域振興課



地域住民の意見を反映・地域自治区イメージ図

- 合併前の旧市町村単位に設置されます -



1

入居者を募集しています 大曲地区、南外地区の市営住宅

入居資格 /

同居する親族がいること。ただし、障害者の方は単身でも入居できる場合があります。

生活が困窮し、住宅に困っていることが明らかな方。

収入が、条例で定められている収入基準以下の方。

市町村税に滞納がない方。

市内に居住する連帯保証人がいる方。

入居予定日 / 7月1日(金)

家賃 / 申込者の所得や住宅の設備によって異なります。

申込受付期間 / 6月2日(木)から6月15日(水)までの午前9時から午後5時

ただし、土曜日、日曜日を除く

募集住宅 /

【大曲総合支所管轄】

福見町住宅 (一般向け) 1戸

船場町住宅 (一般向け) 3戸

〃 住宅 (母子向け) 1戸

笑の口住宅 (一般向け) 1戸

上大町住宅 (一般向け) 1戸

【問い合わせ・申し込み】

大曲総合支所公園住宅課

0187-63-1111(内線223)まで

【南外総合支所管轄】

梨木田住宅 (一般向け) 1戸

【問い合わせ・申し込み】

南外総合支所土木課

0187-74-2111(内線241)まで



市役所の電話番号は

☎ 0187-63-1111

【問い合わせ】が内線番号のみの場合は市役所におかけください。

2

立候補予定者は忘れずに出席してください 農業委員会委員一般選挙立候補予定者説明会

任期満了(7月19日)に伴う東部農業委員会委員一般選挙及び西部農業委員会委員一般選挙の立候補予定者説明会を開催します。今回の選挙は、旧市町村単位で定数が定められた選挙区により実施される予定です。立候補を予定している方は、説明会に必ず出席し、立候補届出書類一式を受領してください。

日時 / 6月16日(木)午後1時30分

会場 / 神岡農村環境改善センター(かみおか温泉「嶽の湯」隣り)

【問い合わせ】

選挙管理委員会事務局

0187-72-2167まで

3

旧大曲市、南外村が入賞 全国広報コンクール

社団法人日本広報協会主催の平成17年全国広報コンクールにおいて、広報紙部門(市部)で旧大曲市、写真部門で旧南外村がそれぞれ5席(全国6位)を受賞しました。今後も、この評価に満足することなく、見やすくわかりやすい広報紙作りを心がけていきます。



広報おまがり(広報紙部門5席)

広報なんがいく(写真部門5席)

提出を忘れずに 児童手当現況届

現在、児童手当を受けているすべての方は、毎年6月に「児童手当現況届」を提出しなければなりません。

この届けは、毎年6月1日における状況を届け出して、児童手当を引き続き受ける要件があるかどうかを確認するためのものです。

この届け出がないと、6月分以降の手当てが受けられなくなりますのでご注意ください。

なお、詳しくは6月16日発行の広報だいせん地域版を確認のうえ、児童手当現況届を提出してください。

【問い合わせ】

各総合支所市民課

本庁児童家庭課子育て支援班(内線173)まで

安心の笑顔ひろがる水道水 全国水道週間作品募集

第47回水道週間が6月1日(水)から7日(火)まで全国的に展開されます。それに合わせ、水道水に対する理解を深めてもらうため、作文・図画・習字・標語の作品を募集します。

詳しくは水道局上水道課企画管理班まで問い合わせください。

応募内容 /

【作文の部】

対象 / 小・中学生

字数 / 小学1年生から3年生まで800字以上、小学4年生から6年生までは1,200字以上、中学生1,600字以上

【図画の部】

対象 / 小・中学生

【習字の部】

対象 / 小学生

題材 / 小学1年生から3年生までは「みず」、小学4年生から6年生までは「水道週間」

【標語】

対象 / 制限なし

題材 / 水道に関するもの

申込受付期限 / 7月10日(日)

(当日消印有効)

申し込み / 〒102-0074 東京都千代田区九段南4-8-9 水道会館内 日本水道新聞社 水道週間懸賞募集係まで

7月1日(金)までに作品を水道局に提出していただければ、日本水道新聞社までお届けします。

【問い合わせ】

水道局上水道課企画管理班(内線121)まで

新鮮な野菜はいかがですか 朝どり農産物自由市場

太田総合支所地域振興課とJA秋田おばこ太田支所では、6月、8月、10月の第4土曜日に朝どり農産物自由市場を行います。

当日は、取れたての野菜や山菜などが市場に並び、値段は売る人と買う人が自由に交渉して決めることができます。

地域振興課とJAでは農産物を販売してくれる方を募集しています。販売には手数料、利用料はかかりませんが、登録が必要です。

なお、野菜販売業の方は登録できません。

期日 / 6月25日(土)、8月27日(土)、10月22日(土)

時間 / 午前8時

会場 / 太田交流プラザ(太田球場南側)

【問い合わせ・登録】

JA秋田おばこ太田営農センター

0187-88-2201

太田総合支所地域振興課

0187-88-1112まで

来年度使用する教科書の見本展示 教科書展示会

平成18年度に使用する教科書の見本を展示します。各教科書会社から出版された小・中・高校の教科書を実際にご覧いただけます。

会場 / 大仙教科書センター(大曲小学校内)

期間 / 6月17日(金)から7月2日(土)まで
(日曜休館)

時間 / 午前9時～午後4時

【問い合わせ】

南教育事務所仙北出張所

0187-63-3477

岩手山周辺の新緑を訪ねる 春の自然観察会

大曲自然友の会と大曲公民館の自然観察事業を行います。

日時 / 6月16日(木) 午前9時～午後4時

会場 / 岩手山山麓他 天候により会場変更あり

参加費 / 1,000円(保険料・高速料金含む)

昼食、飲み物は各自で持参してください

定員 / 45人

申込受付期限 / 参加費を添えて6月9日(木)まで 定員になり次第締め切ります

【問い合わせ・申し込み】

大曲公民館

0187-62-1312まで

申請はお早めに 国民健康保険税の2割軽減

国民健康保険加入世帯ごとに加入者等の合計所得が基準額以下の場合2割軽減が受けられます。この軽減を受けるためには申請が必要です。

該当すると思われる世帯には、6月中旬にこの申請書を発送する予定です。期限を過ぎてからの申請は軽減が受けられませんので、早めの申請をお願いします。

申請期限 / 6月30日(木)

【問い合わせ】

本庁税政課管理班(内線263)まで

働くお母さんを応援します パソコン講習会

県内に在住する母子家庭の母親、寡婦の方を対象としたパソコン講習会を行います。

期間 / 6月28日(火)から7月6日(水)まで

時間 / 午前9時～午後4時

会場 / OAステーション大曲校(大曲通町)

教材費 / 500円(テキスト代)

定員 / 10人

内容 / WindowsとExcelの入門活用

申込受付期限 / 6月20日(月)

【問い合わせ・申し込み】

秋田県ひとり親家庭・就業自立支援センター
018-896-1531

本庁児童家庭課家庭援護班(内線181)まで

自由に学びあいませんか 第1回夜なべ鞆水塾

大曲公民館では、「心豊かに さわやかに」をテーマに第1回夜なべ鞆水塾を行います。

対象 / 市内在住者・勤務者

日時 / 6月8日(水)午後6時30分以降月1回(全6回)

会場 / 大曲公民館

定員 / 40人

参加費 / 無料

申込受付期限 / 6月6日(月)

定員になり次第締め切ります。

演題 / 市町村合併あれこれ

講師 / 商工会専務理事 塩谷国太郎さん

【問い合わせ・申し込み】

大曲公民館

0187-62-1312まで

大曲仙北広域市町村圏組合 消防吏員採用候補者登録試験

受験資格 /

【上級試験】昭和53年4月2日以降に生まれ、学校教育法による大学を卒業した方。

【初級試験】昭和55年4月2日以降に生まれ、学校教育法による高等学校を卒業し、救急救命士の国家資格を持っている方。大学(短期大学を除く)を卒業した人は受験できません。

【身体基準】身長165センチ以上、胸囲が身長2分の1以上、体重55キログラム以上、視力が両眼とも裸眼で0.3以上、矯正視力0.7以上で、赤・青・黄色の色彩の識別ができること。聴力が2メートルの距離で低語を聞き分けできること。

申し込み / 消防吏員採用候補者登録試験申込書、

受験票に必要な事項を記入し、大曲仙北広域市町村圏組合消防本部総務課に提出してください。郵便による申し込みの場合、配達記録郵便で郵送し、290円切手を貼り、あて先、郵便番号を明記した返信用封筒(長形40号)を必ず同封してください。普通郵便で郵送した場合の事故については一切責任を負いません。

申込受付期間 / 6月15日(水)から7月15日(金)までの午前9時～午後4時30分(土曜・日曜日、休祭日を除く)。郵便による場合は、7月15日消印有効。

【一次試験】

期日 / 8月7日(日)

受付時間 / 午前8時45分～9時45分

9時50分から試験の説明を行います。受付時間に遅れた場合は受験できません。

試験時間 / 午前10時～正午(一般教養試験)午後0

時10分～0時30分(適性検査)

会場 / サंकウエスト大曲

持参するもの / 受験票、筆記用具(HBの鉛筆、消しゴム)

【二次試験】

日時 / 9月8日(木)・9日(金)午前9時

会場 / 大曲地域職業訓練センターおよび大曲体育館(会場は都合により変更する場合があります)。

提出書類 / 成績証明書、卒業証明書、健康診断書、救急救命士免許証の写し(救急救命士有資格者に限る)。提出した書類は返却しません。

その他 / どのような理由があるかと、試験結果や合格発表に関する問い合わせには応じません。

【問い合わせ・申し込み】

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部総務課

0187(63)0150(内線311・312)まで



2回目の挑戦で、みごと日本一に輝く

第62回全国舞踊コンクール現代舞踊第一部第1位

米沢麻佑子さん(長野六日町・21歳)



よねざわ まゆこ

昭和59年旧中仙町生まれ。現在、筑波大学4年。

3歳から現代舞踊を始め、中学校1年からは横浜の舞踊家であり神奈川県芸術舞踊協会名誉会長の黒沢輝夫・下田栄子氏に師事。小学校2年生からコンクールに参加し、数々の輝かしい成績を収める。今年、全国舞踊コンクール現代舞踊第一部において第1位に輝いた。

20世紀の初期に外国から移入され、洋舞と呼ばれた現代舞踊。モダンバレエと言え、なじみ深いかもしれない。今では日本人のモダンバレエも単なる外来芸術の受け売りから脱皮し、日本人独自の身体と風土に根ざしながら、自由な立場から現代色豊かな創作作品を数多く発表している。

3月24日(木)から4月17日(日)まで東京「めぐろパーシモンホール」で開かれた第62回全国舞踊コンクールの現代舞踊第一部において、米沢麻佑子さんが第1位に輝いた。このコンクールは国内で最も歴史と権威のあるコンクールで、国内外で活躍する優れた舞踊家を数多く輩出している。

現代舞踊の成人の部で県出身者が優勝を果たしたのは17年ぶりになる。2度目の挑戦で一躍日本の頂点に立ち、今後は世界の舞台での活躍が期待される米沢さん、「このような大きな賞をいただき、驚きと感動と感謝でいっぱい。懸命に指導し、支えてくださった先生をはじめ、周りの多くの方々に

感謝します。この賞を励みに、日々努力したいと思います」と謙虚に受賞を喜ぶ。

優勝した曲が「時絵」という作品。時絵は日本独自の文化で、漆を接着剤の代わりとして、金や銀などの金属粉や螺鈿(らでん)貝の裏のきらきら光る部分などを接着させて、文様を表していく技法で、金や銀の金属粉を蒔いて漆にくっ付けるため、時絵と言われる。

「日本古来の伝統的な時絵というものは見た目は美しいのですが、その陰には職人さんたちの苦悩するという姿があります。美しいものとその裏側に潜むものを表現したいと思いました。美しいだけの踊りではなく、その中に激しさをどのように表現したらいいか苦悩して仕上げた作品」だと言つ。

クラシックバレエが好きで母親の啓子さんの影響もあってか、2歳の時、テレビのバレエを見て自分から踊りたい、バレエを習いたいと話したという。3歳の時、市内のバレエ教室に入り、中学校1年生からは横浜の舞踊家



苦しさの中に人間の美しさを表現。激しさを表現。観衆を魅了する。

であり神奈川県芸術舞踊協会名誉会長を務める黒沢輝夫・下田栄子氏に師事。毎週末や長期休みを利用してレッスンに通い、メキメキと頭角を現してきた。成績も輝かしいものばかりで、高校時代にはこの大会のジュニア部門で3年連続1位になっている。

現在、筑波大学4年に在学し体育専門学群で舞踊を専攻している米沢さん。舞踊の理論や実技などについて学んでいる。「現代舞踊は自由に創作でき、自分で表現できることが魅力。留学ができるのであればニューヨークに行きたいですね。日本にない最先端の技術や新しさを身に付け、自分を伸ばしていきたい」と抱負を語ってくれた。



受け継ぐ心が大きな踊りの輪に
『ドンパン祭り』



支所
中仙
大仙市役所

総合支所便り

中仙地区紹介

中仙地区人口統計(平成17年4月30日現在)

人口 = 11,617人(大仙市: 95,877人) 世帯 = 3,275世帯(大仙市: 30,253世帯) 面積 = 78.92km²(大仙市: 866.68km²)

「総合支所便り」

第4回目は、ドンパン節のふるさと
中仙総合支所からの便りです。

中仙の歴史

江戸時代、佐竹北家が長野の紫嶋城を居城とし54年間北仙北を統治していたことから、中仙地区のまちとしての形が整えられました。長野は大きな舟がとまる玉川添い最北の舟着場として栄え、市場も活気があり、政治や経済の中心地となっていました。

現在の中仙地区は、明治初期には独立した31力村でしたが、明治の合併により4力村となり、昭和30年3月に長野町、清水村、豊川村、豊岡村の1町3村の合併により中仙町が誕生、今年の3月で町制施行50周年を迎えました。

現在の中仙

西に出羽丘陵、東に奥羽山脈が連なり、この間に開けた農用地は仙北平野第一位の広さを誇る穀倉地帯となっています。地区の西側はJR田沢湖線・国道105号線が走り、沿線に庁舎をはじめ多くの施設があり、地区の中心部となっています。地区のどこからでも中心部まで10分程度で行けるよう生活交通路の整備が進んでいます。

平成15年に中仙市民会館ドンパルがオープンし、文化活動・健康増進に大いに利用されています。また、8月には、幼保連携の西保育園(仮称)「なかせんワイワイランド」が開設計画で、児童福祉の充実が期待されています。

中仙のイベント・伝統行事

8月16日に開催される「ドンパン祭り」は、ドンパン節発祥の地・中仙を広く知ってもらうために昭和60年に始まり、昨年20回の節目を迎えました。今や夏の一大イベントで、5万人を超える人出でにぎわいます。メインのドンパン踊りでは、大勢の飛び入りの方も加わり、1千人を超える踊りの輪が作られます。

10月下旬に開催される「全国ジャンボうさぎフェスティバル」では全国各地から大きなうさぎが集まり、日本一を競います。時には10キロを超えるうさぎも登場します。

このほか、八坂神社ぼんでん(1月中旬)長野神社祭典(3月中旬)長野ささら・東長野ささら(8月7日から16日まで)などの伝統行事が毎年行われています。

観光施設や見どころ

秋田県唯一の国宝「線刻千手観音等鏡像」が豊川「水神社」にあります。毎年8月17日の「例大祭」で開帳されます。

「八乙女公園」は春には約2千本の桜が楽しめるほか、子ども広場や展望台を兼ねたあずまやがあり、憩いの場となっています。

「東山ふれあいの森」は、平成12年にオープン。森の恵みを満喫できるレクリエーション・エリアで、観察・体験・散策・学習を行うことができます。



八乙女公園

展望台からは奥羽山脈が一望でき、春には約2,000本のソメイヨシノが咲き誇る憩いのスポットです。源義家・阿部貞任の古戦場として数々の伝説を残しています。



「線刻千手観音等鏡像」

水神社

秋田県で唯一の国宝「線刻千手観音等鏡像」が祀られています。社地には樹齢300年はくだらない杉木立が生い茂り、辺りには歴史の持つ厳かさが漂っています。



中仙市民会館ドンパル

客席536席の音楽ホールをメインにした多目的施設です。人、芸術、文化の多様な出会いを演出する交流拠点となっています。展示ホール、研修室、学習情報室、トレーニングルーム、子供の遊び場など、さまざまなスペースを完備し、国宝「線刻千手観音等鏡像」と県指定有形文化財「瑞花文円鏡」のレプリカもご覧いただけます。

**道の駅なかせん
「こめこめプラザ」**

お米に関する情報やお米が原料の特産品の製造工程を一般公開しているほか、レストラン、休憩施設などを備えた情報発信ステーションです。



十六沢城址からの展望:眼下に穀倉地帯が広がり、雄大な景色を眺めることができます。

中仙地区案内図



東山ふれあいの森

30周年の記念事業を開催 「真木真昼県立自然公園を美しくする会」



真木真昼県立自然公園を美しくする会の例会が5月11日(水)、奥羽山荘で開かれました。

この公園は、昭和50年に県立自然公園の指定を受け、標高1千メートルから1千200メートル級の山々がそびえる全国屈指の山岳として知られ、シーズンになると多くの愛好者が訪れます。

例会では、県立自然公園指定30周年を記念したフォトコンテストや記念登山などの開催を決めたほか、会長に栗林次美大仙市長、副会長に松田知巳美郷町長を選任しました。栗林市長は、「県内に8カ所しかない県立自然公園を持っていることは両市町にとって貴重なこと。力を合わせて活動を進めていきたい」とあいさつしました。

活発な活動に花まる 「秋田県子ども会育成連合会表彰受賞」



平成17年度秋田県子ども会育成連合会表彰の表彰式が、5月14日(土)、秋田県児童会館で行われ、子ども会活動を活発に推進してきたとして、南外地区の田屋子ども会と赤平子ども会が県子ども会育成連合会会長表彰を受賞しました。

両子ども会は、路上のごみ拾いや花だんの整備、地域内の危険箇所の点検などに力を入れて活動したと認められ、今回の受賞となりました。

南外地区では、少子化のありを受け、子ども会の会員は減少傾向にあります。自分たちの住む地域を美しく快適な環境にしていこうとする子ども会の活動は、地域の活性化に一役買っています。

子ども太公望 腕を競う 「第25回大曲子どもつり大会」



5月14日(土)、第25回子どもつり大会が市つり公園(飯田沼)で行われ、小・中学生合わせて20人が参加しました。

大会は、市内の釣具店、大曲へら鮎釣研究会、仙北漁業協同組合大曲支部、巨へら会から協賛をいただいて市が毎年開催しているもので、子どもたちは4時間にわたって釣った魚の重量を競い合いました。入賞者は次のとおりです。

- 【小学生の部】 優勝〃 斉藤雅晴(千屋小 ・ 美郷町)
- 【中学生の部】 優勝〃 斉藤学志(千畑中 ・ 美郷町)
- 【特別賞】 大物賞〃 福岡歩夢(大曲中) 珍魚賞〃 小田渉太(鵜飼小) ・ 岩手県滝沢村)

敬称略、内の数字は学年

地域の遺産を後世に 「徳五郎むかし話をCD化」



昔話りの名人として知られ、秋田の口承文芸を収集・記録した南外出身の故・堀井徳五郎さんが生前語り残した民話や昔話が収録されたテープを、伊藤寛雄さん(南外下湯ノ又)がCD化し、南外公民館と大曲工業高校に寄贈されました。

CDは、昭和42年に収録が行われ、南外公民館に保管されていたオープンリールテープ全5巻を、コンピューター処理を行い再録音したもので、全10枚のCDに93話の昔話が収められています。

伊藤さんは「堀井さんが方言で語る昔話には優しさとおたかさがあります。地域の文化遺産をみなさんに広く聞いていただきたい」と話していました。

まちの話題・Topic

「旭日小綬章」
高橋 規男さん
(清水下黒土・73歳)
地方自治功勞。元中仙町長。



「瑞宝単光章」
伊藤 繁さん
(南外小荒沢・73歳)
消防功勞。元南外村消防団副団長。



「瑞宝単光章」
齋藤 喬さん
(大沢郷宿・75歳)
消防功勞。元西仙北町消防団団長。



「瑞宝単光章」
須川 恭一さん
(神宮寺・76歳)
消防功勞。元神岡町消防団分団長。

「瑞宝単光章」
黒田 清之助さん
(角間川町良・77歳)
消防功勞。元大曲仙北広域市町村圏組合消防指令。



晴れの栄誉 受章おめでとう！



5月16日(月)、大曲中央公民館を会場に、大仙市誕生記念日本舞踊特別公演として7月16日(土)に開催される「日本舞踊で綴る みちのく 大仙そして大曲の花火」に一般参加する方々のオーディションが行われました。

公演のチケットは、一般4千円・学生2千円で全席自由です。大曲市民会館、中仙市民会館(ドンパル)、協和市民センター(和ピア)、仙北ふれあい文化センターなどで発売中です。ぜひ地元のみなさんと一緒に創る舞台をご覧ください。

【問い合わせ】大曲市民会館 0187(63)8766まで(月曜休館)



北檜岡地区の高齢者で組織されるボランティアグループ「みどりの会」(石山與一代表・会員20人)が、子どもたちが安全に登下校できるように声をかけるなどして見守る活動を今年度から始めました。

会員が交代で国道13号沿いの北神小学校通学路に立ち、登下校時の子どもたちが交通事故に遭わないよう、また不審人物に対する警戒などにも当たっています。

同会はこれまで、北檜岡地区の美化運動に積極的に取り組み、道路側溝清掃や農村公園内のせん定、花だんの管理などのボランティア活動を続けており、活動の輪を広めようと仲間を募っています。

「一般参加オーディション開催
市誕生記念日本舞踊特別公演」

「子どもたちを事故から守ろう
高齢者グループ『みどりの会』」

会館情報

仙北華道連盟「第20回大仙市仙北総合華道展」
仙北ふれあい文化センターで「花・夢ひろく」をテーマに仙北華道連盟の生け花展を行います。美しい花々が見せる調和を、どうぞお楽しみください。

期間 / 6月4日(土)から6日(月)まで
時間 / 午前9時~午後5時(6日は午後3時まで)
会場 / 仙北ふれあい文化センター展示ホール

【問い合わせ】

仙北華道連盟 山田さん 0187-63-2980 まで

日本郷土民謡協会「秋田地区連合大会」

大曲市民会館と日本郷土民謡協会秋田地区連合による民謡と踊りの大会です。

期日 / 6月5日(日)
時間 / 午前10時開演
会場 / 大曲市民会館

入場料 / 1,000円(全席自由)

【問い合わせ】

大曲市民会館 0187-63-8766 まで

わらび座ミュージカル「銀河鉄道の夜」

大曲市民会館の学校芸術鑑賞事業です。一般の方も3階席で鑑賞する事ができます。

期日 / 6月10日(金)
時間 / 【1回目】午前9時30分開演
【2回目】午後1時30分開演

会場 / 大曲市民会館
入場料 / 1,500円(3階全席自由)

【問い合わせ】

大曲市民会館 0187-63-8766 まで

「大仙合唱祭」

期日 / 6月11日(土)
時間 / 正午開演
会場 / 協和市民センター(和ピア)
入場料 / 無料(全席自由)

【問い合わせ】

大仙合唱連盟 熊谷さん 0187-62-5316 まで

「大曲高校吹奏楽部定期演奏会」

期日 / 6月11日(土)
時間 / 午後2時開演
会場 / 中仙市民会館(ドンパル)
入場料 / 400円(全席自由)

【問い合わせ】

大曲高校吹奏楽部 小山先生 0187-63-4004 まで

「第17回秋田おばこ節全国大会」

期日 / 6月12日(日)
時間 / 午前10時開演
会場 / 大曲市民会館
入場料 / 1,000円(全席自由)

【問い合わせ】

大曲市民会館 0187-63-8766 まで

15周年記念「あや竹会協和教室発表会」

期日 / 6月19日(日)
時間 / 午後1時30分開演
会場 / 協和市民センター(和ピア)
入場料 / 1,500円(全席自由)

【問い合わせ・チケット買い求め】

総合食品みひら 018-892-3033 まで

「M's ウインドアンサンブル第8回公演」

期日 / 6月25日(土)
時間 / 午後5時30分開演
会場 / 中仙市民会館(ドンパル)
入場料 / 1,000円(全席自由)

【問い合わせ】

M'sウインドアンサンブル 星山さん 090-8788-2174 まで

若杉みどり踊り教室「感謝の集い」

期日 / 6月26日(日)
時間 / 午後1時開演
会場 / 中仙市民会館(ドンパル)
入場料 / 1,500円(全席自由)

【問い合わせ】

若杉みどり踊り教室 高橋さん 0187-53-3065 まで

花と緑にふれる「ガーデニング講座」
全2回の日程でガーデニング講座を開催します。

【初回】季節の草花の寄せ植え
土作りとガーデニングの基礎について
期日 / 6月22日(水)

【第2回】涼しい夏を演出する苔玉作り
苔玉用土作りと盆栽用植物について
期日 / 6月29日(水)

時間 / 午前10時~11時30分
会場 / 女性センター(大曲大町)
定員 / 20人

材料費 / 1回あたり2,000円
持参するもの / 筆記用具、軍手がビニール手袋、
花バサミ、エプロン、買い物袋

講師 / 小野田セツ子さん
申込受付期限 / 6月13日(月)
定員になり次第締め切ります。

【問い合わせ・申し込み】

女性センター 0187-62-1713 まで

【問い合わせ】

秋田県立農業科学館(月曜休館)
0187-68-2300 まで

企画展

「初夏のバラ展」

期日 / 6月4日(土)から5日(日)まで
会場 / 展示通路

「森林技術センター紹介展」

期日 / 6月7日(火)から7月31日(日)まで
会場 / 第一展示室

「さつき展」

期日 / 6月9日(木)から12日(日)まで
会場 / 展示通路

「炭焼き実演」

期日 / 6月24日(金)から26日(日)まで
会場 / 炭焼き小屋

「ユリの彩り展」

期日 / 6月28日(火)から7月10日(日)まで
会場 / 多目的ホール

「ベルクレイフラワー展」

期日 / 6月28日(火)から7月10日(日)まで
会場 / 展示通路

特別展

「斑入り山野草展」

期日 / 6月17日(金)から19日(日)まで
会場 / 展示通路

園芸教室

「ハーブを楽しむ」

対象 / 一般

日時 / 6月19日(日) 午前9時30分~正午
会場 / 多目的ホール

定員 / 20人

参加費 / 無料(材料費自己負担)

講師 / 農業科学館職員

申し込み / 農業科学館まで

【問い合わせ】

本庁健康増進課

0187-62-9301 まで

献血日程表

期日	時間	実施場所
5日(日)	10:00 ~ 16:00	ジャスコ中仙店
	10:00 ~ 11:00	グランドパレス川端
6日(月)	11:10 ~ 12:00	精巧堂印刷所
	13:00 ~ 14:30	鈴木典男税理士事務所
	14:45 ~ 16:00	北都銀行大曲南支店 緑屋大曲店
13日(月)	10:00 ~ 10:55	大曲仙北広域交流センター
	11:10 ~ 12:00	自然科学調査事務所
	13:00 ~ 14:20	コマツ秋田(株)大曲支店
16日(木)	14:40 ~ 16:00	コムシス東北テクノ(株)
	10:00 ~ 12:00	大曲商工会議所
		秋田ふれあい信用金庫本店
		(株)シマックス
		(株)ヤマサコーポレーション
13:00 ~ 14:50	興栄建設(株)	
15:05 ~ 16:00	光山電気工業(株)秋田工場	
28日(火)	10:00 ~ 12:00	仙北農業共済組合
	13:00 ~ 16:00	エスアイアイ・マイクロテクノ(株)

大仙市の行事予定

6月1日(水)~6月20日(月)

6/1	(水)	大曲ファミリーキャンプ場利用開始
2	(木)	
3	(金)	
4	(土)	市民大学実践講座 午前9時 大曲市民会館 第20回大仙市仙北総合華道展 仙北ふれあい文化センター(~6日) マギー司郎のお笑いマジックショーと東北民謡公演 午後2時30分開演 協和市民センター 3,000円(全席自由) 協和市民センター(和ピア) 018-892-3820 まほろば唐松新能公演 午後5時30分開演 唐松城能楽殿 S席8,000円(当日8,500円) A席7,000円(当日7,500円) 協和総合支所地域振興課 018-892-3706
5	(日)	日本郷土民謡協会秋田地区連合大会 午前10時開演 大曲市民会館 チケット1,000円(全席自由) 大曲市民会館 0187-63-8766 犬のしつけ方教室 午前10時 仙北健康広場(ふれあい文化センター前) 角館高校吹奏楽部定期演奏会 午後2時開演 中仙市民会館(300円) 休日外科当番医:仙北組合総合病院・外科(大曲) 0187-63-2111 休日歯科当番医:カワラダ歯科医院(角館町) 0187-55-1188
6	(月)	
7	(火)	
8	(水)	
9	(木)	
10	(金)	わらび座ミュージカル銀河鉄道の夜 午前9時30分開演(1回目) 午後1時30分開演(2回目) 大曲市民会館 チケット1,500円(3階席) 大曲市民会館 0187-63-8766
11	(土)	大仙合唱祭 正午開演 協和市民センター 大曲高校吹奏楽部定期演奏会 午後2時開演 中仙市民会館(400円)
12	(日)	第17回秋田おばこ節全国大会 午前10時開演 大曲市民会館 チケット1,000円(全席自由) 大曲市民会館 0187-63-8766 休日外科当番医:仙北組合総合病院・整形(大曲) 0187-63-2111 休日歯科当番医:さいとう歯科クリニック(角館町) 0187-53-2752
13	(月)	
14	(火)	和賀岳・真昼岳花のガイド (真木真昼県立自然公園を美しくする会編) 1冊1,050円(税込み・送料等別途150円) 地元の山に親しむ花のガイドをぜひお求めください。 【問い合わせ】 太田総合支所地域振興課 0187-88-1112 まで
15	(水)	
16	(木)	
17	(金)	
18	(土)	
19	(日)	交通事故被害者交流会 午後1時 サンクエスト大曲 無料 申し込み 16日まで 秋田被害者支援センター 018-832-8010 休日外科当番医:大曲中通病院(大曲) 0187-63-2131 休日歯科当番医:俵谷歯科医院(協和) 018-892-3282
20	(月)	

休祭日救急医療センター(大曲保健センター内)

内科・小児科 午前10時~午後4時 0187-62-1015

行事予定は都合により日程が変わる場合もあります

お知らせ



菊作り愛好者の方へ 大曲菊の会の菊苗販売

大曲菊の会では、市内菊作り愛好者のため、格安な値段で菊苗を販売します。

日時 / 6月6日(月)午前9時～11時まで

会場 / 大曲図書館前

【問い合わせ】

大曲菊の会 今野さん
0187-62-4186 まで



交通事故にあったら相談を 県南地区交通事故相談所

交通事故で悩んだり困っている方はいませんか。専任の相談員が無料で相談に応じ、内容や秘密は厳守されます。電話相談も行っていますので、ひとりで悩まずにご相談ください。

日時 / 平日午前9時～午後3時

会場 / 平鹿地域振興局総務企画部

仙北地域振興局(0187-63-5114)へは、毎月第3水曜日に出張相談を行っています

【問い合わせ・相談】

平鹿地域振興局総務企画部
0182-32-0594 まで



増加しています 振り込め詐欺被害

県内において振り込め詐欺(オレオレ詐欺、架空請求詐欺、融資保証金詐欺)のひとつ「金融保証金詐欺」¹の被害が増加しています(昨年同時期と比較すると件数で9.4倍、被害額で25倍)。特に30～50歳代の男性の被害が目立っています。

金策を優先させ判断を誤ることなく、冷静に対処することが被害の防止につながります。

注意事項 /

ダイレクトメールやはがきなどで融資の勧誘があった時は、まず疑うこと。

「低金利ですぐ融資」という甘い言葉につられない。

その場で判断せず、家族や最寄りの交番・駐在所に相談すること。

¹金融保証金詐欺の手口

実際には融資しないのに融資する旨の文書等を送付し、保証金を振り込ませる。

多重債務者らにはがきを送り付け、電話すると架空の話を持ちかけて現金をだまし取る。

【問い合わせ】

大仙警察署
0187-63-3355 まで



犯罪にあつたらすぐ届け出 現場はそのまま110番

外出や農作業で家を空ける機会が多くなるこの時期、空き巣ねらいの犯罪が多くなります。犯罪の防止、早期解決のため、事件を知った時や被害に遭った時は現場に手を触れず、すぐに110番通報や届け出をお願いします。

【問い合わせ】

大仙警察署
0187-63-3355 まで



男性の子育てを応援します お父さんも育休

男性の育児参加について研修を行う企業に講師を派遣します。

研修を実施した企業の男性従業員が20日以上の子育休取得した場合、事業主に20万円、育児休業取得者本人に5万円の奨励金を支給します。

【問い合わせ】

秋田県労働政策課
018-860-2302 まで



実施します 銃砲刀剣類登録審査会

銃砲刀剣類登録審査会が行われます。登録したい銃砲刀剣類と発見届出済証をお持ちください。

期日 / 7月8日(金)、9月9日(金)、11月10日(木)、平成18年1月10日(火)、3月10日(金)

時間 / 午前9時～正午

会場 / 秋田県庁第二庁舎5階52会議室

手数料 /

【登録申請手数料】6,300円

【再交付申請手数料】3,500円

【問い合わせ】

秋田県教育庁生涯学習課文化財保護室銃砲刀剣類担当

018-860-5194 まで

人口と世帯数

(4/30現在)

人口 95,877人 (-182)

男 45,577人 (-82)

女 50,300人 (-100)

世帯数 30,253世帯(+47)

()内は前月比

県税休日納税相談日

仕事などで平日の都合がつかない方に利用してもらうため、自動車税などの納税相談窓口を設けます。どうぞご利用ください。

日時 / 6月26日(日)午前8時30分～午後5時

会場 / 仙北地域振興局庁舎

【問い合わせ】

仙北地域振興局県税課納税班 0187-63-5222 まで

忘れずに自動車税の納期

6月は県自動車税の納期です。最寄りの金融機関窓口で忘れずに納付してください。

また、県内の金融機関(郵便局は不可)に預金口座があれば、口座振替が利用できます。「申し込みはがき」は仙北地域振興局または金融機関窓口にも備え付けてありますのでご利用ください。

口座振替は申し込みの翌年度からになります。

【問い合わせ】

仙北地域振興局県税課納税班 0187-63-5222 まで

情報交差点

JOHOU KOUSATEN

イベント

Events

イベント 参加してみませんか
男女雇用機会均等セミナー
6月は男女雇用機会均等月間です。性別に関係なく能力が発揮できる職場づくりを考えませんか。
日時 / 6月16日(木)午後1時30分～4時
会場 / ホテルメトロポリタン秋田(秋田市)
参加費 / 無料
【問い合わせ】
秋田労働局雇用均等室
018-862-6684 まで

イベント 生かそう権利、めざそう自立
消費者基本法1周年セミナー
日時 / 6月7日(火)午後1時～3時30分
会場 / 秋田県庁第2庁舎8階大会議室
参加費 / 無料
【問い合わせ】
秋田県県民文化政策課
018-860-1517 まで

講習

Course

講習 受講者募集
手話ボランティア講習会
国体・障害者スポーツ大会では「秋田わか杉大会」の運営を支える手話ボランティアを養成する講習会を行います。
応募資格 /
平成元年4月1日以前に生まれ、県内に在住、在勤、在学している方
手話による簡単な日常会話ができる方
秋田県の手話ボランティアとして登録し、大会期間中活動できる方
期日 / 7月1日から11月25日までの毎週金曜日
会場 / 大曲仙北広域交流センター

定員 / 30人程度
受講料 / 無料
申込方法 / 仙北地域振興局福祉環境部、各市町村の福祉事務所にある申込用紙に、必要事項を記入のうえ秋田県聴力障害者協会まで申し込みください。
申込受付期限 / 6月20日(月)
【申し込み】
秋田県聴力障害者協会
ファックス018-864-2782まで
【問い合わせ】
秋田県国体・障害スポーツ大会局
018-860-5254 まで

募集

Invitation

募集 朗読を楽しみませんか
大曲みんなの朗読教室
朗読を楽しむ会員を募集しています。会員同士でいろいろな本を朗読し、読む楽しさを実感しませんか。見学も大歓迎です。
期日 / 毎月第1・第4土曜日
時間 / 午前10時～正午
会場 / 大曲公民館
参加費 / 年額2,000円
講師 / 奥田敦夫さん
【問い合わせ・申し込み】
大曲みんなの朗読教室 斎藤さん
0187-62-0559 まで

募集 交通安全川柳の募集
あきた弁川柳
高齢者の交通安全をテーマにしたあきた弁川柳を募集します。作品の一部または全部にあきた弁を使ってください。
テーマ / 高齢者の交通安全
応募資格 / 平成17年7月29日現在で満65歳以上の方
申込受付期限 / 7月29日(金)
当日消印有効
【問い合わせ・申し込み】
秋田県県民文化政策課
018-860-1542 まで

募集 作品募集
統計グラフコンクール

統計知識の普及と統計の表現技術の向上を図るため、統計グラフ作品を募集します。詳しくは統計情報ホームページ(<http://www.pref.akita.jp/tokei/top.htm>)か秋田県調査統計課まで。
応募資格 / 小学生以上
用紙規格 / B2判(72.8センチメートル×51.5センチメートル)
申込受付期限 / 9月2日(金)
必着
【問い合わせ・申し込み】
秋田県調査統計課
018-860-1253 まで

スポーツ

Sports

スポーツ 一緒に汗を流しませんか
初心者テニス教室
初心者テニス教室の参加者を募集します。申し込みは当日会場でも可能です。
期日 / 6月13日から毎週月曜・木曜日の週2回(全10回)雨天順延
時間 / 午後7時～9時
会場 / 市営テニスコート(大曲川原町)
対象 / 成人男女(学生可)
参加費 / 無料(保険料は自己負担)
【問い合わせ・申し込み】
畠山歯科
0187-62-3636 まで

各種ウォーキングのお知らせ

てくてくウォーキング
期日 / 6月11日(土)
時間 / 午前9時受け付け開始
会場 / 奥羽山荘正門前広場
参加費 / 300円(保険料含む)
申込受付期限 / 6月6日(月)
【問い合わせ・申し込み】
太田分室スポーツ振興班
0187-88-1119 まで

大曲なかよしウォーキング
期日 / 6月19日(日)
時間 / 午前7時30分受け付け開始
会場 / 雄物川河川緑地運動公園
参加費 / 無料
申込受付期限 / 6月14日(火)
【問い合わせ・申し込み】
スポーツ振興課(大曲体育館内)
0187-63-1122 まで

国指定名勝池田氏庭園の特別公開

雪見灯籠と初夏の風、緑美しい池田氏庭園を五感で感じてみてください

池田氏庭園の特別公開。初夏の緑と雪見灯籠が見せる顔、静寂が奏でる調和のとれた美しさ。日本庭園のすばらしさをあなたも体で感じてみませんか。

見学は30人程度の小グループに分かれ、解説員誘導のもと主庭園を中心に行います。当日受け付けで申し込みめば、希望する団体単位での見学も可能です。自由見学は行っていません。

写真撮影は可能ですが、三脚の使用、商用目的、池田家居住区域の撮影は禁止となります。

特別公開は、池田家のご協力により行っています。

敷地内は個人所有地であり、ご家族の生活の場でもありません。公開期間以外の敷地への立ち入りを固くお断りします。

秋季特別公開

今回の特別公開のほか、秋季特別公開も予定しています。

秋季特別公開日 / 11月5日
(土)・6日(日)予定



池田氏庭園

平成16年2月、県内の庭園としては初めて国の名勝に指定された。

東北三大地主と称された池田家。42,000平方メートルにもおよぶ広大な敷地には、明治から大正にかけて造られた池泉廻遊式庭園、洋館のほか、米蔵など往時の生活を伝える建築物が残されている。



公開日 / 6月11日(土)・12日(日)

時間 / 午前9時～午後4時

受け付け / 池田氏庭園正門前

公開整備協力金 / 1人200円(中学生以下無料)

駐車場 / 池田氏庭園正門前・仙北庁舎駐車場

【問い合わせ】

大仙市教育委員会文化財保護室

0187-63-8972 まで

正門前駐車場は混雑が予想されるため、仙北庁舎駐車場発着のシャトルバスの利用をお願いします。また、雨天の場合は雨具や長靴をご用意ください。

編集後記



締め切りに追われるなか、うれしいニュースが飛びこんできた。旧大曲市が広報紙部門、南外村が写真部門で、それぞれ全国広報コンクール5席(全国6位)入選の知らせ。大仙市から2つの入賞が出たことは喜ばしい、ただ、広報の担当になったばかりの私が、それに関わっていないかつたという事がある。ひとつは記事を読んでもらう感じがしたのかという事。広報クイズで寄せられるさまざまな意見や感想を読むことが一番の楽しみになった。写真撮影の難しさも頭を悩ませる。目を引く写真は記事を生かす。分かつてはいるが、そんな写真を撮りたいと思う気持ちだけが空回りし、数枚撮った内のまぐれの一枚に満足する実力と現実。これではダメと、動きまわる娘で練習。うまく撮れれば、写真の腕も上がるだろうと考えた。カメラ講習会にも参加。腕はどうあれ以前よりも写真に對し興味がある。葉もある。広報初心者の上手な書き方、写真の撮り方に悩みながら、迫る締め切り。パソコンのキーボードをたたく。

(朋)

5人の方々に図書カード1,000円分が当たる

問題 地域自治体に組織される
地域協議会の委員は何人以内でしょう？

10人以内 20人以内 30人以内

応募方法 答え、郵便番号、住所、氏名(読み仮名明記)、年齢、広報誌の感想や市への質問などをお書きの上、〒014-8601 広報だいせん担当 住所不要 宛にお送りください。締切は6月15日(消印有効)。また、ハガキ以外でもファックス(63-1119)、Eメール(kouhou@city.daisen.akita.jp)でご応募ください。

